



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

2022年度決算を審査

小矢部市議会では、9月21日に2022年度決算の概要説明を受け、10月16日から18日まで決算特別委員会が開かれました。委員会では、監査委員の意見を聞き、一般会計や特別会計、公営企業会計を審議し、上田由美子市議は新年度予算に反映させるための議論をしました。



教育支援センターを、通いやすい場所に

上田市議 教育センター
費の不登校児童生徒等適応指導教室事業費(234万円)について、不登校児童生徒のうち何人が適応指導教室に通ったのか。
教育総務課長 22年度の不登校の児童生徒は、中学生22名、小学生は20名で計42名、岩尾滝にある教育センターの教育支援センター「ふれんど」に通ったのは、中学生4名、小学生8名は学校に復帰した。
上田市議 42名のなかで12名(28%)は少ない。教育支援センターが市内全域から通いやすい場所であれば人数が増えるのではないかと。
教育総務課長 それについては市として検討しているところだ。

多人数学級支援講師の復活を

上田市議 小学校費の特別支援教育支援員事業費(2108万円)について、22年度から児童数が31人以上35人までの多人数クラスに教員免許を持つスタディメイトを配置してきたが、労働条件通知書では担任教師の代わりに授業ができるのか。
教育総務課長 現在31人以上35人までのクラスは、石動小学校で2クラス、津沢小学校で2クラスある。教員免許を持つスタディメイトを配置しているが、担任の代わりに授業はできない。生徒の生活支援を行うことで結果として担任を助けている。
上田市議 2021年度まで配置されていた多人数学級支援講師を復活すれば、担任の授業の補助や担任が休みの時に代わりに授業ができる。
教育総務課長 多人数学級では引き続きスタディメイトで対応する。

「特別障害者手当が受給できた」

自宅介護の方から 喜びの声

私が特別障害者手当について6月定例会で質問し、その詳細が8月号の『広報おやべ』に掲載されました。それを知った方から「介護している家族が受給できました」と連絡がありました。社会福祉課窓口相談して、医師の診断書など必要書類をそろえ9月に申請し、約1か月後に決定通知が来たとのことだ。「今まで自分はこの制度を知らなかった。対象となる方の中でも知らない人が多いのではないかと」言われました。

特別障害者手当は、月額27,980円です。自宅で介護を受けている方などで介護度の高い方は、受給できる場合があるので、総合保健福祉センター内の社会福祉課にご相談ください。
私は議会での質問が市民の役に立つたことを確認でき、うれしく感じるとともに、これからも市議会の活動で、市民生活の向上を目指していきます。
(上田由美子)

ねえ聞いて

季節の移ろい、身近な出来事、社会や政治の動きなどに対する、読者のみなさんの思いや意見を交流するコーナーを新設しました。お気軽に編集部へお寄せください。



秋の小ぶりにひまわりたち

ひまわりといえば、真夏の太陽のもとで咲いている力強い大輪を思い浮かべますが、秋も中ほどを迎えたころ、散歩の途中に出会ったひまわりがほんの1、二分、私をほっとさせてくれました。
私の背丈を越える高さでまるでどんぐりの背比べのように、裏庭沿いに植えられたひまわりの群れのそばを歩きました。一本の茎にいくつもの小ぶりの花をつけています。
この夏の猛暑に疲れ切っている心身を、いたわるかのように優しく話しかけてくれるようです。大輪とは違い、小ぶりにひまわりにはほんとうに優しさを感じさせてくれるものがあります。優しさだけでなく、ささやかな励ましも投げかけているかのようにも思えます。
「さあ、夏の疲れとさよならして自分自身を励まそうー」通り過ぎた路上にはそんな私がいきました。
(牧野清美)